SAITAMA JAPAN
RID 2770 2012-13
Peace Through Service

Governor's Monthly Letter
ガバナー月信

表紙の題字は牧内操研修リーダー

第11グループは、川口と旧鳩ヶ谷の7クラブが、独自の文化をもって活動をしています。奉仕活動を真摯に追求する熱い血が、各クラブには脈々と受け継がれ、いったん決めたら永年にわたり継続活動をする風土です。

その活動は多岐にわたり、アイバンク活動、献血活動、福祉施設への協賛活動、財団との国際奉仕活動、交換学生をずっと継続している国際友好青少年奉仕活動など。これらに加え、毎年新しい活動も生まれています。

今年は、第11グループから田中ガバナー（川口RC）を輩出。田中作次R一会長年度に活躍をされています。

期待してください。今年は7クラブの活動力で、会員増強にその本領を発揮します。

（高野好勝）

【お詫びと訂正】4月号表紙掲載の三郷ウエンズデーRC会長名「白石克己会長」は「白井克己会長」が正しいお名前です。お詫びして訂正致します。

2013.5
第11号

平成25年5月1日発行（毎月1回発行）　〒330-0063　さいたま市浦和区高砂 1-2-1-116 エイベックスタワー東館 1 階
国際ロータリー第 2770 地区　ガバナー事務所 TEL 048(827)0022　FAX 048(827)0011　E-mail : ri2770@ri2770.com
発行人／田中德尚　編集／吉田英一　小林玖仁男

渡邊年度・地区協議会レポート

エレクト年度の集大成が「地区協議会」です。

ここで次年度の仕込みである種撒きが終わります。「地区チーム研修」「会長エレクト研修」「地区協議会」で、ホップ、ステップ、ジャンプ！。いよいよ7月からは渡邊和良ガバナー年度が始まります。

ノミニー年度で開墾し、エレクト年度で種撒きし、ガバナー年度で収穫する。渡邊ガバナーの3年ロマン、ちょうどまん中です。

●いよいよ 13-14年度の方向が見えてきました。「チクキョー」こと地区協議会が4月19日（金）大宮ソニックシティで行われました。早朝から準備に集まったさいたま中央RCの方々、チームワークの良さが際立っております。いよいよ午前10時20分に渡邊ガバナーエレクトによる点鐘で本会議がスタート。午前のメインは基調スピーチで『次年度R一テーマと地区運営・活動方針』が渡邊エレクトから発表されました。ロータリーと結婚したつもりで心を入れて取り組めとのご提言。この地区内には、釣った魚に餌をやらない会員など居ない筈（？）。良い一年になりそうな予感…。

●昼食を終えて、午後の部に突入。会長、幹事、管理運営、広報、会員増強維持、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代奉仕、ロータリー財団、米山奨学の11部門部に分かれて、それぞれ基調スピーチと委員会ごとの活動方針説明、質疑応答で約2時間。喋る方も大変だが、聞く方も大変。しかし時間の経過を忘れて熱心にメモを取る姿も見られ、まさに我が地区が誇る熱いロータリアン達の証し。午後の一番眠い時間帯の筈なのに居眠りする人など一人も居ませんでした（これマジ）。

●午後2時45分からは各部会の報告。短い発表ほど拍手が大きいのは気のせい？最後に今ではすっかり気楽な立場になった田中ガバナーがリラックスした声の調子で講評。上から目線にならないところが素晴らしい。

●平日の金曜日、朝から晩まで丸一日、ご出席の皆さんお疲れ様でした。一日の締めは、午後4時という世間的に見れば何とも早い時間からワイワイ懇親会。まだお天道様が出てる時間なんだもの。すっかり開放感に浸った出席者達。閉会となって時計を見るとまだ午後5時30分、日も沈んでおりません。「うちに帰るにはまだ早いじゃんかよ～」かなり多くの人影がブラックホールに吸い込まれるように桃源郷ナンギンへと向って行きました。しかしまだ時間が早く、店も開いておりません。さぞ悔しかったんでしょう、「チクキョー」の帰りに「チクショー」と叫んだとか叫ばなかったとか。

次年度地区副幹事　福田剛紀

クラブの要は幹事です。次年度の同期の幹事が集まって最後に記念写真。良い年度にして行きましょう！

親愛なるロータリアンの皆さま こんにちは

国際ロータリー第2770地区 12～13年度ガバナー　田中徳尚

●若葉が生い茂る季節、5月となりました。今月は主にガバナー活動のご報告をさせて頂きたいと思います。

●さて、IMにつきましては2月2日の第1、2グループを皮切りに3月23日の第9グループまで無事全てのグループが終了いたしました。どのグループにおいても大変充実したプログラムが構成され私自身も大いに学ばせていただきました。ガバナー補佐の皆様とそれぞれご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。しかしながらIMが集中する時期のガバナー業務が立て込み、皆様には日程調整などでご迷惑をお掛けしました。本来のIMはガバナー補佐が主体となって行うものですので、ガバナーの出席を求めなければもっと日程が自由に組むことができるでしょう。今後は日程を効率よく組む方法を考えてゆくことが必要です。

●そして本年度に創立記念事業の開催を迎えたクラブが上尾西、春日部西、大宮東、鴻巣、春日部南、上尾、大宮西、岩槻、久喜菖蒲、大宮シティ、上尾北、幸手中央の12クラブございます。各クラブともに田中作次R会長が日本人として30年ぶりにご就任されたこの記念すべき年に周年を迎えることとなりました。会員増強、寄付共にそれぞれ優秀な成績を残されており、これは周年事業活動がクラブの活性化に大いに役立つということを示唆しています。特に新会員の増強においては具体的に会員数を定めることによって素晴らしい実績をあげているクラブもあります。

●3月17日から3日間、3800地区フィリピン国際奉仕事業検証ツアーへ参加し現地の視察を行って参りました。以前からフィリピンには訪問したいと考えておりましたが中々機会がなく、今回このような形で伺う事ができ大変有意義な検証ツアーとなりました。

●当日は、6チームに分かれて1チームあたり3～4カ所のプロジェクト実施クラブの検証をいたしました。年度によっては国際奉仕委員の方を中心に1日で10か所以上を回る大変忙しい日程を組んでいたと伺いました。今回は自分たちが関わったプロジェクトが実際どのようになっているか、大変効率的に確認することができました。

●今回の訪問では、行政と民間のサービスの境目がなくなってきているのではないか、ということが印象的です。といいますのは、日本ならば行政が行う筈のものをロータリーなどの慈善団体が直接支援している現状を目の当たりにしたのです。フィリピンのみならず、韓国の寒い地域ではロータリーが貧困層に直接練炭を配っています。グアムでは道路に置く緩衝用砂袋など、ロータリーが直接支援しているのです。これからの日本も、子育て支援金などを必ずしも国や行政がカバーすることができなくなれば、ロータリーが直接的に困っている地域の問題に関わることが求められるでしょう。来年度も多くの実施クラブにご参加いただき、ご自身の目でどのように我々の財団のお金が役だっているかをご確認頂きたいと思います。

●3月22日から3日間にわたって行われました今年度のライラ研修。今回は東北支援活動として2520地区と合同で植樹ボランティアなどに打ち込んでいただきました。こうした他地区との交流は新たな時代を担う若者にとっても、とても良い経験だったのではないでしょうか。地区としても良い成果を出せました。ライラ担当委員の皆様と参加者の皆様に改めて御礼申し上げます。

●R会長賞も3月末をもって締め切りとなりました。田中R会長の年に賞をいただくことは大変有意義であり、それをご理解のうえで多くの方にご申請いただいたことに感謝申し上げます。

●4月7日のコンサートも無事終了し、第2520地区小野寺ガバナーにお越し頂き、被災地であります2520地区、2530地区に支援のメッセージを義援金と一緒に送ることとなりました。当日は多くのお客様にお越し頂き、オーケストラも皆様の熱気を受けて素晴らしい演奏ができたことに喜んでおられました。特に、担当していただきました地域社会奉仕委員会およびガバナー補佐の皆様に感謝申し上げます。

奉仕を通じて平和を
ロータリーで素晴らしい出会いを

▲入会者は200名を突破！　これは42名を86名に倍増した大宮西50周年での入会式。

▲4月20日の大宮シティRC15周年。濱野ノミニーを輩出し、活気が。

▲ライラ（青少年指導者育成）研修では、岩手県に出かけ、震災の地に植樹を。

▲RI2770、3800両地区のロータリアンが一緒に記念撮影。

ガバナーのバック写真は第 6G IM での凧揚げプロジェクト『千の風に乗って』、いわき市薄磯の砂浜にて、親子連れ約 450 名が復興を祈って凧を揚げました。

1問1答シリーズ⑪

リスボン国際大会推進委員長 井橋吉一パストガバナー

今号のインタビューでは、いよいよ開催が間近に迫ってきたリスボン国際大会推進委員長で、第2770地区戦略計画委員長の井橋吉一PDG(10～11年度)にお話しを伺います。

月信担当副幹事：吉田英二(鳩ケ谷RC)

リスボン国際大会の地区からの登録者は何名ですか？

●最終人数はまだ出てませんが**400名**くらいです。我が地区のガバナーご苦労様、渡邊ガバナーエレクト激励会」の登録者は、**250名**以上です。たくさんで出かけることが出来て、嬉しい限りです。

リスボンで楽しみな事は？

●何と言っても『田中作次RI会長主催の国際大会』ですから、大いに満喫して頂きたいです。

国際大会で田中作次RI会長とお話できる機会はありますか？

●2770地区ナイトの「田中ガバナーご苦労様、渡邊ガバナーエレクト激励会」には、田中作次RI会長も出席の予定になっていますので、楽しみですね。

井橋パストは、戦略計画委員長ですが、何のためにいつできたの？

●12～15年の3年間に亘る「戦略計画立案」を目的に、田中ガバナーの方針で立ち上げました。

戦略委員会では具体的に何を？

●委員会メンバーは、ガバナー・パストガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニーとガバナー補佐、地区部門委員長経験者、地区幹事の方々に委員就任をお願いし、10回に亘る委員会で議論を充分にしました。まず、クラブの現状と過去の経緯を確認し、さらに現在の抱えている課題を浮き彫りにしました。その上で、今後取組む課題を明確にしました。ロータリーを取り巻く環境は、必ずしも良い状況ばかりではなく難題も多くあります。その環境を乗り越える3年戦略を立てました。

戦略を実行するにあたっては、何か案がお有りですか？

●戦略計画の基本として、RI戦略計画の3つの優先項目を柱として、計画立案しました。クラブで計画立案の時には、この優先項目を基本に作成して頂きますと地区とクラブが一体となって活動が出来ると思います。

2012～15年度
【戦略計画3つの優先項目】

1. クラブのサポート強化
   15年6月にまでに
   会員3000名に。
2. 教育的・人道的奉仕の推進
   未来を託す青少年の育成の
   推進。
3. 公共イメージと認知度の向上
   地域でのイメージアップ・
   ブランド獲得

(詳しくはガバナー月信1月号に掲載)

ご自身がガバナーだった時のいちばんの思い出は何ですか？

思い出は大きく3つあります。

●一つは、ガバナーに就任して間もなくの8月上旬、田中作次パストガバナーが12～13年RI会長指名委員会でRI会長に指名され、輩出地区のガバナーとしてたいへん緊張しました。

●そして、2011年3月11日の東日本大震災の発生です。例年の地区の行事、IMも、ライラも、各クラブの周年行事も、すべて中止となりました。

ガバナーとしての取り組みは、被災地支援が中心でした。必死に夢中で過ごした時間でした。

●最後に、会員減少を食い止め、会員数をプラスできたことです。日本の地区の中でプラスに出来たところが5地区あったそうです。ほんとうにほんとうに皆さんの努力のおかげです。

田中作次年度(94～95年)を頂点に会員減少が続いた中で、井橋年度では期首よりも期末の会員数が増えました。会員減ストップの最大の要因は？

●ガバナー補佐、会員増強委員長による積極的な活動が成果につながったと思います。
ありがとうございました。

会員増強に何か名案は？

●何といってもロータリアン一人ひとりがクラブの組織維持拡大の**意識付け**が大切です。

辞めたいと思った事は？

「あります。」
後ろ向きになった時です。

座右の銘はございますか？

「信頼と思いやり」

ご健康の秘訣は何か？

食べ過ぎない。飲み過ぎない。適度な運動。
健康に良いものを摂取すること。

田中作次RI会長に一言！

●常に前向き、積極的な活動が世界・日本のロータリーに大きく貢献し実績を残されたと思います。
ありがとうございました。

田中徳尚ガバナーに一言！

●ガバナーとしてたいへん前向きでエネルギッシュな活動で、地区内が活気付いています。ゴールまであと少し、頑張って下さい。

渡邊ガバナーエレクトに一言！

●いよいよスタートが近づいています。渡邊ガバナーのきめの細かい気配りが、地区内のロータリアンに理解され、素晴らしい年度になると思います。期待しています。

なんでもランキング

財団寄付100%達成クラブ

年次寄付

		達成率(%)
1	八潮	348.33
2	川口	178.35
3	川口モーニング	161.90
4	鴻巣	146.34
5	越谷南	144.54
6	上尾	142.86
7	杉戸	140.00
8	浦和東	139.69
9	川口・鳩ヶ谷武南	139.54
10	川口西	138.46
11	北本	133.33
12	浦和北東	126.73
13	蓮田	125.00
13	草加中央	125.00
15	三郷中央	123.47
16	大宮北東	120.77
17	戸田西	116.29
18	三郷	114.48
19	大宮中央	113.90
20	松伏	107.69
21	大宮東	107.64
22	桶川イブニング	107.41
23	鴻巣水曜	106.90
24	越谷北	106.61
25	川口シティ鳩ヶ谷	105.67
26	吉川	103.13
27	大宮南	102.94
28	大宮西	102.09
29	春日部	102.11
30	大宮	101.85
31	久喜菖蒲	101.69
32	さいたま新都心	101.22
33	浦和南	100.09
34	浦和中	100.00
34	大宮シティ	100.00
34	さいたま欅	100.00
34	栗橋	100.00
34	八潮イブニング	100.00
34	戸田	100.00

ポリオ寄付

		達成率(%)
1	八潮	577.04
2	大宮東	360.45
3	浦和北東	297.07
4	浦和西	243.26
5	松伏	189.25
6	北本	185.19
7	大宮西	179.24
8	鴻巣	178.17
9	三郷中央	174.78
10	さいたま新都心	173.02
11	戸田西	172.84
12	桶川	171.30
13	越谷北	167.31
14	川口	157.78
15	杉戸	156.23
16	川口・鳩ヶ谷武南	155.64
17	浦和南	127.22
18	大宮中央	126.53
19	川口モーニング	119.05
20	杉戸中央	113.90
21	戸田	111.60
22	さいたま中央	111.52
23	大宮北東	110.07
24	川口西	107.69
25	川口東	106.78
26	川口北東	106.43
27	大宮北	106.10
28	浦和ダイヤモンド	104.48
29	春日部	102.63
30	大宮シティ	102.17
31	久喜菖蒲	101.69
32	浦和中	100.00
32	大宮	100.00
32	大宮南	100.00
32	さいたま欅	100.00
32	上尾西	100.00
32	鴻巣水曜	100.00
32	桶川イブニング	100.00
32	春日部西	100.00
32	蓮田	100.00
32	越谷	100.00

ベネファクター

(達成率) 300%	
越谷南	
(達成率) 200%	
杉戸	
八潮	
川口東	
川口西	
川口北	
(達成率) 150%	
浦和北	
越谷	
越谷北	
(達成率) 100%	
	浦和
	浦和東
	浦和中
	浦和ダイヤモンド
	浦和西
	浦和北東
	さいたま新都心
	大宮
	大宮南
	大宮中央
	大宮シティ
	さいたま欅
	大宮西
	岩槻
	大宮東
	大宮北東
	鴻巣
	桶川
	上尾西
	春日部
	蓮田
	越谷東
	八潮みらい
	吉川
	川口
	川口南
	川口シティ鳩ヶ谷
	戸田西

通算出席率ベスト10

		出席率(%)	前月順位
1	鴻巣	95.66	1
2	浦和南	93.77	2
3	八潮みらい	93.64	3
4	戸田西	93.34	4
5	浦和東	92.92	5
6	北本	92.87	8
7	上尾北	92.64	7
8	春日部西	92.28	6
9	八潮	92.21	9
10	川口シティ鳩ヶ谷	92.11	10

米山寄付100%達成クラブ

		達成率(%)
1	川口モーニング	304.50
2	吉川	239.24
3	蓮田	211.07
4	久喜菖蒲	201.08
5	蕨	200.63
6	八潮	197.92
7	上尾	182.14
8	川口	173.81
9	川口シティ鳩ヶ谷	161.76
10	川口東	155.92
11	春日部	150.96
12	浦和北東	147.97
13	大宮北東	147.50
14	北本	147.22
15	鴻巣	146.76
16	戸田西	146.00
17	上尾北	144.00
18	越谷南	133.82
19	大宮東	130.56
20	越谷北	128.86
21	杉戸	125.48
22	三郷中央	125.00
23	春日部西	121.59
24	浦和中	121.05
25	鴻巣水曜	119.58
26	三郷	116.13
27	幸手中央	113.54
28	大宮中央	109.30
29	浦和東	107.81
30	大宮西	104.94
31	さいたま欅	104.61
32	大宮	103.07
33	岩槻	102.92
34	大宮シティ	102.31
35	越谷	101.49
36	浦和南	101.04
37	大宮南	100.28
38	草加中央	100.00
38	松伏	100.00

なんでもランキング

増強

祝・200人達成！

入会速報

4月5日現在 202人

クラブ会員数ランキング
(50人以上)

		(人数)
1	浦和	111
2	大宮西	85
2	越谷	85
4	川口	84
5	浦和東	80
6	浦和北	68
7	大宮シティ	67
8	大宮	64
9	久喜菖蒲	58
10	越谷北	56
11	越谷南	52
11	戸田	52
13	越谷東	51
14	八潮	50

会員純増ベスト8

		(人数)
1	浦和	10
1	大宮	10
3	三郷ウェンズデー	7
4	浦和ダイヤモンド	6
4	大宮西	6
4	川口モーニング	6
7	八潮	5
8	大宮南	4
8	越谷北	4
8	八潮みらい	4
8	戸田西	4
8	川口中央	4

入会者数ランキング
(5人以上)

		(人)
1	大宮西	13
2	浦和	11
3	大宮	10
4	三郷ウェンズデー	9
4	大宮南	8
6	浦和ダイヤモンド	7
6	大宮シティ	7
6	越谷	7
6	八潮	7
10	浦和東	6
10	春日部西	6
10	川口モーニング	6
13	八潮みらい	5

会員増強目標達成率ランキング

		目標(人)	達成数(人)	達成率(%)
1	川口中央	1	4	400.00
2	春日部西	2	6	300.00
3	越谷	3	7	233.33
4	大宮	6	10	166.67
5	大宮南	5	8	160.00
6	大宮西	9	13	144.44
7	八潮	5	7	140.00
8	川口東	3	4	133.33
8	戸田西	3	4	133.33
10	浦和	11	11	100.00
10	浦和ダイヤモンド	7	7	100.00
10	大宮シティ	7	7	100.00
10	大宮北東	3	3	100.00
10	桶川イブニング	3	3	100.00
10	八潮みらい	5	5	100.00
10	三郷	3	3	100.00
10	川口シティ鳩ヶ谷	2	2	100.00

おまけ☆参考資料

退会理由

職業繁忙	18
死亡	16
健康上	10
転勤	9
出席	4
移転	1
無関心	1
その他	34

退会者の在籍年数ランク

1	～3年	29
2	6～10年	13
3	11～15年	10
4	16～20年	7
5	26～30年	5
6	31～35年	5
7	4～5年	4
8	21～25年	3
9	36～40年	3
10	41年～	1

地区会員数増減比較（月別）（人）

	新会員数	退会者数	純増	総会員数
7月	49	8	41	2482
8月	25	11	14	2496
9月	15	7	8	2504
10月	34	13	21	2525
11月	13	2	11	2536
12月	12	28	△16	2520
1月	28	10	18	2538
2月	10	4	6	2544
3月	15	9	6	2550

※全て13年3月末日現在・各クラブからの報告に基づいたデータです。（詳しくは地区のホームページをご覧下さい。）

従来、月信で掲載していました「全クラブの会員数と出席率」の表は、地区ホームページに掲載してありますので、そちらをご参照ください。

国際奉仕プロジェクト／フィリピン検証訪問

46名の訪問団はフィリピンの現状を見て、何かを感じ、何をすべきかを考えた。

国際奉仕委員長　伊藤公仁

●3月16日（土）～20日（水）4泊5日の日程で、フィリピン3800地区における21件の国際奉仕プロジェクトの検証訪問を行いました。

●今回は田中ガバナー・小林地区幹事にも参加いただき、田中徹夫PGを団長とする地区内17クラブの39名で訪問しました。また共同でプロジェクトを支援した韓国・安山広徳RCの7名も参加しました。合計46名の訪問団です。

●17日（日）には3800地区の主催による感謝と友情のタベも開催され、両地区のロータリアンが大いに親交を深めました。

●18日（月）・19日（火）には、いくつかのグループに分かれプロジェクト先を訪問し、関係者から詳しくお話を伺いながら現地の様子を視察して来ました。

●全てのプロジェクトがしっかりと実施されていたのが、大変印象深く感じました。

●参加された地区のロータリアン、3800地区の皆様、そして関係されたすべての方々に深く感謝申し上げます。

小学校の壁に『四つのテスト』が英語とタガログ語で書かれていました。(Caloocan Silangan RC)

感謝と友情のタベでバナーを交換する両地区ガバナーと田中徹夫団長。

フィリピンのロータリーとの交流晩餐会。
会が始まっているのに看板を取り付けている？　3800地区これが南国のゆるさなのです。

訪問先の小学生が民族舞踊で歓迎を。(Metro East Taytay RC)

さあ、いざ6チームに分かれプロジェクト検証に出発。

ハイハイ、そっぽ向いてないで、ちゃんと食べなさい。(Mandaluyong North RC)

第1グループが共同支援している、学用教材提供のプロジェクトです。(San Juan RC)

寄贈した消防車のホースから試しに放水してみると、勢いよく水が出ました。(Kalookan North RC)

ちょっとした雨で、ダウンタウンはすぐに水浸しです。

参加者名簿

団長／田中徹夫PG（岩槻東）
田中徳尚ガバナー（川口）
小林玖仁男地区幹事（川口）
鈴木隆部門委員長（岩槻）
伊藤公仁国際奉仕委員長（戸田西）
大東悦巳国際交流委員長（春日部西）
梨本松男第7Gガバナー補佐（幸手）
田口雅弘（岩槻）
原田晃博（岩槻）
菊池和彦（岩槻東）
瀧田和雄（岩槻中央）
菊池隆喜（庄和）
吉田孝徳（浦和）
坂寄栄司（春日部イブニング）
関口治信（戸田西）
小山重治（戸田西）
秋保常雄（戸田西）
田中峰吉（川口西）
山本　孝（川口東）
立澤利夫（吉川）
飯島　隆（三郷）
堀口勝男（桶川イブニング）
本橋敏男（蓮田）
井原　實（さいたま新都心）
大庭秀夫（さいたま新都心）
阿部朋博（越谷東）
富樫　孝（浦和北東）
鈴木義男（浦和北東）
内田康信（浦和北東）
横田　元（浦和北東）
中村元徳（浦和北東）
上野拓也（浦和北東）
鈴木寿和（浦和北東）
清水敏夫（浦和北東）
宮澤　実（幸手）
長嶋茂雄（幸手）
山口寿通（幸手）
小林達郎（幸手中央）
無量小路俊宏（幸手中央）
（順不同・敬称略）

RI D2520／D2770合同RYLA

被災地で若者たちは何を受けとめたのか。

新世代部門委員長　鈴木眞／ライラ委員長　遊馬久治

●好天に恵まれた3月22日（金）の朝、大宮ソニック前から2台のバスが発車しました。本日から3日間の予定で岩手県にて国際ロータリー第2520地区と合同でのRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）の開催です。

●事前研修は2月17日（日）に丸々一日をかけて行いました。

中村靖治PDGによる「ロータリーについて」の講演をいただき、ロータリーを知らない研修生のために、少しでもロータリーを理解できるよう進めてまいりました。また、自己紹介、グループ討議等を行い、それぞれの発言力、お互いの交流を深めてもらいました。そのような事前段階を経てRYLAの本研修となったところです。

●当地区からは、研修生41名、ロータリアン16名で57名の参加。中でも今回は米山奨学生の参加が多数となりました。

●宿泊地は岩手県の金ヶ崎青少年の家で片道6時間は要しました。とにかく走り続け、世界遺産の平泉・中尊寺に到着したのは午後2時過ぎ。約1時間半の見学を終え、青少年の家に向かいました。

世界遺産の平泉・中尊寺にて

●到着後、早速オリエンテーション。施設の使用規則等の説明を受け、時間の都合により全員で夕食。その後セレモニーを行い、田村亮夫PDGにより「リーダー」についての講演を1時間ほど行いました。研修生たちは、長旅の疲れも感じさせないほど熱心に聞き入っていました。

●終了後、ロータリアンの宿舎に2520地区の小野寺ガバナーも駆けつけ、田中徳尚ガバナー、吉田PDG、森田PDGとともに小さな部屋で遅くまでロータリアン同士お互いの交流を深めあうことができました。

●2日目は朝8時に青少年の家を出発し、今回の一番重要なプログラムである大船渡市の盛川の河川敷での植樹活動です。

現実は「植樹をしたくてもまだ、東北の土地の将来像がまだ出来上がっていない状況」です。全国から植樹の要望がたくさんあるのですが、役所もなかなか簡単に許可

到着後、早速オリエンテーション

岩手県金ヶ崎青少年の家の前で

を出せないのが現状のようです。しかし大船渡西RCの皆さんのご尽力でこの企画が実行できることとなりました。

●地元の植木屋さんのご協力をいただき、2520地区のロータリアン、研修生とともに桜の苗木80本を植樹。また、これを記念し両地区の名前を入れた看板も設置し、大変、意義のある植樹となりました。研修生たちが何年か先にこの地を訪れ、この桜をみて感慨深いものがあることと思います。

●その後、大船渡の鎮魂愛の鐘を訪れ、全員で鐘を鳴らし祈りを捧げました。陸前高田RCの千田会長、佐々木幹事がバスに同乗し、説明をして頂きながら大船渡から陸前高田の被災地を視察しましたが、実際にこの光景を見るのが初めてという研修生がほとんどであり、さすがに言葉にならないほど皆さんショックを受けていたようです。とにかく、陸前高田の広範囲での被災状況はたった6分間での出来事であり、以前の写真と比較すると信じがたい光景に変化してしまったわけです。

桜の苗木80本を植樹。

●宿舎に戻り、両地区で総勢120名を超える人数の中で、千田会長、佐々木幹事の講演を聞かせていただきました。奥様や子供達、友人を亡くし、とにかく悲惨な状況であるわけですが、佐々木幹事の「海を憎んでいない。地球に生かされている。地球を大切にすることを忘れてはいけない！」という言葉に皆さん心を打たれたようでした。

●その講演の後に草加松原RCの渡辺会員のご協力により会津大学の寺薗准教授をお招きし、星を見る会を行いました。あいにくの曇り空だったようですが、渡辺教具様からのご提供による星座早見表を片手に研修生たちの熱心な質問に寺薗氏も手ごたえを感じたと言っていました。

●一方、ロータリアンは宿舎にて2520地区と合同での懇親会を行いました。当地区から吉田PDG、2520地区からは小野寺ガバナーをはじめ、菊地PDG、2520地区初の女性ガバナーノミニー山口淑子様も同席し、約40名ほどで懇親を深めあいました。

「鎮魂愛の鐘」を鳴らし祈りを捧げる。

●3日目の最終日。朝9時からグループ別に分かれ、それぞれ震災に基づいたテーマのもとにディスカッションが行われました。地元の高校生の話では（当時はまだ中学生）、家が目の前で流されたり、友達が流される姿を見たという話もあり、発表のときにも涙を流しながらの場面もありました。

●今回、参加した研修生それぞれが様々に感じ、思いを持ったと思います。参加したことが決して無にならず、今回のRYLAが「自分自身のきっかけ」となってくれるよう願っています。昼食をとって2520地区の皆さんとお別れし、充実した3日の行程を終え帰路につきました。

●長距離という事、施設の時間制限、他地区と合同研修という事で、時間的・内容的に変更せざるを得ない状況が多々あり、参加者の皆さんにはご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。

最後に、ご協力いただきました参加者企業経営者の皆様、ロータリアン、クラブ、そして、2520地区の皆様に感謝申し上げ、今年度のRYLAのご報告とさせていただきます

震災に基づいたテーマのもとに
ディスカッション、GWT活動

インド第3000地区から 職業研修チーム（VTT）が来日

インドとの連絡はミステリー小説のように。

ロータリー財団部門 職業研修チーム委員長 福田剛紀

●去年の夏の終わりの事。インド第3000地区G氏「11月あなた方の地区大会に職業研修チーム（通称VTT）を行かせるから宜しく」同地区V氏「VTTを来年3月に行かせます」私「11月？3月？（頭を抱えて）どっちなんだぁぁぁぁぁ！」G氏「私が正しい、あっちが間違ってる」V氏「私が正しい、あっちが間違ってる」結果的に地区大会にはVTTと関係無い5人のインド人が来た。「じゃあVTTはもう来ないの？」何の返答も無いまま月日が経つ。

●そして昨年末のV氏「来年3月、8人で行かせる。うち6人がロータリアン」「…8人？ロータリアン6人？？？」岩渕R財団委員長「ダメ。R財団ではロータリアンと家族に使えないのが原則」

●年も明け、2月のV氏「5人決まった。今度は大丈夫。3月25日に成田到着する」受入準備を進め、到着まであと3週間の頃、聞いた事も無い名前のK氏から突然の電子メール「3月21日に到着します」私「（頭を抱えて）どっちなんだぁぁぁぁぁ！」仕方無く到着便が書いてあった後者を正しいと判断。急に到着を4日も早めるなよ！出迎え見送り歓迎会送別会工場視察等々、準備が全部パーだよ…。世界を相手にするとはこういう事か。誰が正しいのか最後まで全く判らない、まるでミステリー小説に巻き込まれたような一件でした。

どこへ行っても桜が満開！

TV東京「YOUは何しに日本へ？」

当地区からインドへ行ったVTTメンバー

津田パストガバナーのお孫さん

栗橋RC飯島幹事の工場を熱心に視察

浦和北RC寿原幹事と工員に質問攻め

日印対抗一発芸大会を開催、本場ヨガのポーズも出た！

●今回の受入にご協力頂いた第7～第12グループガバナー補佐の皆様、及び研修と観光にお力添えを賜りました各クラブの方々に改めて御礼を申し上げます。またスカイツリー入場の手配をして頂いた國光ガバナー補佐とお話を通して下さった布施ガバナー補佐、インドチームとの交流にご協力頂いた昨年の当地区VTTリーダー真野ガバナー補佐には大変お世話になりました。元青少年交換留学生＝ローテックスの皆様には通訳をして頂きました。最後にインドVTTの5人から当2770地区ロータリアンの皆様へ「次はインドに来て下さい！」との伝言です。

国際奉仕部門セミナー／感謝状授与式

地区71クラブ（約95%）が国際奉仕プロジェクト事業・国際交流事業に参加！

国際奉仕部門委員長　鈴木　隆

●国際奉仕を全クラブで！を合言葉に

田中作次R一会長のRーテーマ「奉仕を通じて平和を」。田中徳尚ガバナーの「ロータリーで素晴らしい出会いを」。国際奉仕部門はこの2つのテーマの下、国内外ロータリアンとの多くの出会いと、多様なプロジェクトを通じた交流と奉仕から『新たなロータリーの魅力』を発見して戴ければと考えていました。

「いずれかの形で全クラブの皆様に国際奉仕プロジェクト事業及び国際交流事業に参加を！」を部門テーマに、PETS、地区協、部門セミナー、卓話等を通じてご案内させて戴きました。

●大きく咲いた国際奉仕の美しい花

お陰様で、各クラブ会長の強いリーダーシップと、グループガバナー補佐の皆様の深いご理解ご協力の下、地区内71クラブ（約95%）の皆様が国際奉仕プロジェクト事業及び国際交流事業に参加。これは各クラブ会長とガバナー補佐の皆様が、Rーテーマ・地区活動方針を深くご理解され実践垂範された賜物です。またここ数年、地区国際奉仕部門に携わった先輩諸氏が多くの国際奉仕の種を蒔いて戴いたことが、今年度大きく美しい花として咲いたものと実感しております。感謝申し上げます。

●新たな試み

事業報告会・ガバナー感謝状授与式

今年度新たな試みで「国際奉仕・交流事業の検証と事業報告／ガバナー感謝状授与式」を2回目の部門セミナーとして開催。各委員長より検証・事業報告。3クラブの代表からの事業発表。最後に、国際奉仕プロジェクト事業及び国際交流事業に携わった71クラブと、ガバナー補佐の皆様にガバナー感謝状を授与させて戴きました。授与された皆様、誠におめでとう御座います。

●更なる国際奉仕活動に向けて

今年度大きく咲いた国際奉仕の美しい花を枯らさぬよう、綺麗な水や肥料をやり、皆様の手ずずっと育てて戴きたい。そのためには、今回のプロジェクトをクラブ単位で検証し理解を深め、国際奉仕の更なるプロジェクト立案に向けて戴ければ幸いです。

●結びに

今年度、まだ2ヶ月ありますが、地区内ロータリアンの皆様には国際奉仕に対し深いご理解ご協力を賜り、誠に有難う御座いました。心より感謝申し上げます。今後、各クラブのご活躍ご発展をご祈念申し上げます。

「国際奉仕は、ロータリーにおける数多くの奉仕活動の中で、最も美しい花だと言われている。」感謝

国際交流委員長　大東悦巳

●4月9日、埼玉会館小ホールにおいて「国際奉仕部門セミナー」を開催。当日、田中ガバナーは公務の為、急きょアメリカに行かれましたので、奉仕部門担当諮問である中村靖治PDGの点鐘によりセミナーは始まりました。内容は、田中年度に地区内クラブが行った国際事業についての紹介と発表。そして国際事業を実践垂範したことに対する感謝状の授与式です。

●今年度において国際奉仕事業に携わるクラブが飛躍的に増えた要因は、第1Gを見本とし、ガバナー補佐のご尽力によりグループ共同による奉仕を推進した事が挙げられます。その功績を称え4名のガバナー補佐様にも感謝状が贈呈されました。

●田中ガバナーから「地区内クラブが国際事業をやりっぱなしではなく発表の場を作り、又その実績に対し感謝の意を表したい」との要望をいただきました。それにより今回のセミナー開催になりましたが、これは今までになかったことで今年度、初めての試みになります。

●諸先輩方が畑を耕し、そして今年度地区内クラブの皆様が種をまいてくれました。次年度もきっと美しい花がたくさん咲くことでしょう。

第10グループIM報告

第10グループガバナー補佐　宮田　博

宮田　博第10Gガバナー補佐

●平成25年3月9日（土）、三郷市に昨年7月に新しく完成した「ピアラシティ交流センター」にて第10グループのインターシティミーティングが開催されました。当日は、田中徳尚ガバナーや三郷市長、吉川市長、松伏町長を来賓として迎え、グループ内のロータリークラブ会員全員登録にてのにぎやかな連合会が催されました。第一部が式典、第二部が三郷市の三愛会総合病院の清水院長と須山医長による「健康を考える」と題した講演、第三部として懇親会という三部構成による内容で行われました。

●第一部の式典に入る前に、東日本大震災の犠牲者に対する黙祷を捧げ、式典ではご来賓のご挨拶の後、本日のメインとして第10グループの5クラブの会長による、各クラブの現況と将来の展望を発表してもらいました。田中徳尚ガバナーによる講評を戴き、意義のある式典となりました。

●第二部の「健康を考える」との講演では、お二人の先生から、地域医療の大切さと、昨今急激に増えているといわれる、前立腺肥大と前立腺ガンについての早期発見の重要性と最新医療の説明があり、質疑の時間が足りなくなるほどの盛況であった。藤田亘弘パストガバナーの講評も、ご自身の体験を交えた講評で、その場にいた参加者の共感が得られる講評で有り、機会が有ればもう一度両先生に講演をお願いしなければならないと思うほどの盛り上がりでありました。

●第三部の懇親会では、三郷ウエンズデーロータリークラブの白石会長より、東日本大震災の復興を祈念するとの意味の詩吟の披露があり、乾杯のあとアトラクションとして用意した石見神楽（いわみかぐら）の中から「ヤマタノオロチとスサノオの尊との闘い」を見せてもらいました。迫力のある神楽で大喝采をもらいました。懇親会の最後には、アコーディオン演奏をバックに童謡の「ふるさと」を全員で合唱し、お開きとなりました。

田中徳尚ガバナーをお迎えして

アトラクションは石見神楽「ヤマタノオロチとスサノオの尊との闘い」

第9グループIM報告

第9グループガバナー補佐　布施雅章

布施雅章第9Gガバナー補佐

●第9GIMは、3月23日（土）獨協大学・天野貞祐記念館に於いて、田中徳尚ガバナーをお迎えして行いました。

●今年度田中徳尚ガバナーは、地区活動方針として『Discover The Rotary（ロータリーで素晴らしい出会いを）』と発表されました。

●第9Gの内2つのクラブが「ロータリー精神である奉仕の心」を育む事を求めて、新たに今年度をスタートしました。第9GのIMのテーマとして、新・旧の会員が『ロータリーを語り合おう』とし、知り合い、話し合う事を目的に少人数のグループに分け、11項目のセッションで、会長・会長エレクトをディスカッションリーダーとし、話し合いを行い発表して頂きました。非常に良いロータリー談義が出来たと思います。

ガバナー補佐挨拶

また、第2部は立食での懇親会が行われ、1部の続きの様に和やかに行われました。

●結びに、会場を無償で提供頂きました獨協大学・犬井正学長様始め関係者の皆様、そしてIM実行委員長・各クラブ会長・会長エレクト・ロータリアン・米山奨学生ホストクラブ・補佐幹事・関係された皆様に心より感謝申し上げ報告とさせて頂きます。

会場は獨協大学の教室を無償で貸して頂く。

少人数でのグループセッションで、白熱した議論を。

立食での懇親会

第8グループIM報告

第8グループガバナー補佐　関森初義

関森初義第8Gガバナー補佐

●第8グループのIMは、3月20日に越谷コミュニティセンター大ホールにて開催されました。この度のIMテーマを「心に響く、文化の絆を」と定め、東日本大震災から2年経過いたしました。このことは、絶対に忘れてはならないとの信念のもと、実行委員の皆様とともに協議を重ねてまいりました。

●当日は、3部構成を組み、第1部「心に響く、文化の絆を」PART1として、市内文化連盟の方々の協力のもと進められました。第1部PART2は、金藤暢彦先生の尺八・篠笛による被災地の民謡を、また、地元ロータリアンであるご住職の面々の大太鼓での鎮魂演舞、2530地区ガバナーノミニーの酒井善盛氏のご講演、最後は交響曲第9番を100名合唱で締めくくり、その後、第2部、第8グループ合同例会を田中ガバナー、越谷市長高橋努様、浪江RC会員の皆様をご来賓として厳粛のうちに執り行われました。最終3部は懇親会を開催して、次期ガバナー補佐紹介挨拶等々。

●一連の流れの中で、読売新聞社協力による被災地のパネル展示、インターアクト生の募金活動などのご協力も得られ、スムーズな運営がなされたと自負いたします。

●最後に、この度のIMは、各クラブ実行委員の方々の役割分担を通して、市民の参加はもとより、ロータリアン同志の連携や、懇親の場が深められたことは、とても意義あることと確信いたします。また、未曽有の被害にあられた方々の幾ばくかを感じとっていただけたことと思っております。このことは、忘れてはならない事実であり、まだまだやるべき奉仕活動のヒントになればと感じております。この度のIMを開催するに当たり、実行委員の方々、ホストクラブ会員、多くの関係者に心から感謝申し上げます。

田中ガバナーの挨拶

金藤暢彦先生の尺八・篠笛による被災地の民謡など多彩なアトラクション

ご住職の面々の大太鼓での鎮魂演舞

第7グループIM報告

第7グループガバナー補佐　梨本松男

梨本松男第7Gガバナー補佐

「震災後の石巻！」

●第7グループは、2月16日にアスカル幸手において、田中徳尚ガバナー年度のインターシティミーティングを開催いたしました。ホストクラブは、幸手ロータリークラブです。当日は、強い風による厳しい冷え込みの日でしたが、百六十名以上の会員が参加する盛大なものとなりました。

●インターシティミーティングは、森本勇IM実行委員長の開会で始まり、渡邊邦夫幸手市長、田中徳尚ガバナーからのご挨拶をいただいた後、各クラブの会長からの活動報告をいただきました。そして、今回のテーマである「震災後の石巻」については、石巻出身で自らが震災を体験し、復旧復興にご尽力されています千葉照彦様（石巻市立大川小学校校長）からの講演と被災地を応援する女優の鈴鹿景子様による「ひまわりのおか」の朗読がありました。

●リアルな言葉で震災の状況を語られ、津波の凄さと悲惨さ、復興がままならない現状を知り、胸が絞めつけられる思いとともに、何をしてあげたらよいか考えさせられました。また、大川小学校遺族会に20万円の支援金を寄付致しました。多くの参加者の心に深く残った素晴らしインターシティミーティングとなりました。

●第二部の懇親会では、今後の支援活動のことで議論を交わしたり、各クラブの会員との親睦も深め和やかに終わりました。

ガバナー補佐の挨拶

朗読　女優　鈴鹿景子 様

講演　石巻市立大川小学校　校長　千葉照彦 様

講演者・朗読者を囲んで

第6グループM報告

第6グループガバナー補佐　真野多加史

真野多加史第6Gガバナー補佐

●今年度、第6グループでは東北支援プロジェクトを主眼に2つのプロジェクトを行いました。この2つのプロジェクトは、震災直後から地元支援活動を継続して行っている、田代ともや氏を代表とする「ごち会」との共催という形をとりました。

1、「ガレキに花を咲かせましょうプロジェクト」

●2012年10月28日（日）、福島県いわき市豊間・薄磯地区にて、パンジーの苗を6千株植えました。これは子供たちが通学路としても通る、ガレキを片付けた殺伐とした風景を少しでも和みにある環境にしたいとの思いが主旨です。

●川口東RC山本様、岡田様のご支援・ご参加も含めまして、第6グループより約80名の会員・家族・米山奨学生・ローターアクトがバス2台で現地へ行き、パンジーを植え、春日部イブニングさんの炊き出しのうどんをいただきながら、多くの地元の方々ととても良い交流を持つ事ができました。

2、「千の凧に乗って」

●2013年3月10日（日）、いわき市薄磯の砂浜にて、いわき市の親子連れ約450名が復興を祈って凧を揚げました。いわき市の将来の復興・発展を担う、市内陸部の子どもたちにも津波被災地の光景を心に刻んでもらいたいとの目的でプロジェクトを行いました。

●希望者に凧のキットを送り、事前に思い思いの絵や言葉を描いた凧が、当日晴れ渡った砂浜の大空に舞いました。こちらも第6グループ関係者がバス2台で現地に入り、全員で、設営、受付、炊き出し、班編成した子供たちの班長などの役割をこなしました。田中徳尚ガバナーも駆けつけていただき、励ましのお言葉をもらい、ガバナー凧も揚げました。また地元いわき分区山守ガバナー補佐よりも多くのご支援と感謝の意をいただきました。

●今年度の第6グループの東北支援プロジェクトに対し、参加されてご支援ご協力をいただいた方はもとより、参加はしなくてもその事前の準備にご協力をいただいた皆さま。これらクラブ負担金や登録料が、上記パンジーの苗や凧キットの資金となりました。心から感謝申し上げます。

●また「ごち会」及び地元地区の皆様、地元ボランティアの方々、いわき市の幼稚園、小中学校関係者など多くのご支援ご協力に対してあらためて感謝申し上げます。ありがとうございました。

「千の凧に乗って一凧揚げプロジェクト」
いわき市の親子連れ約450名が復興を祈って凧を揚げました。

「ごち会」及び地元地区の皆様、地元ボランティアの方々

「ガレキに花を咲かせましょうプロジェクト」
パンジーの苗を6千株植えました。

創立35周年記念公開例会を開催

「平和と拉致問題を」テーマに

大宮東ロータリークラブ

三枝和男会長率いる大宮東RCの皆さま。有意義な公開例会でした。

●当クラブでは、創立35周年を記念して4月13日（土）「平和と拉致問題」をテーマに、さいたま市内の大宮法科大学院大学講堂で、創立35周年記念公開例会を開催。

●北朝鮮による日本人拉致被害者である、田口八重子さんの兄で拉致被害者家族連絡会代表の飯塚繁雄氏等が講演。地元さいたま市の清水勇人市長や、R－2770地区のロータリー関係者や市民など230名ほどが来場し熱心に聞き入っておりました。

●飯塚氏は妹の田口八重子さんが22歳だった1978年6月に失踪し、35年が経過する中、北朝鮮が国際社会に対してミサイル発射準備の挑発行為を続けているだけに、大変懸念される、国民一人一人の問題だと認識して早く解決してほしいと訴えた。

拉致被害者家族連絡会代表の飯塚繁雄氏の講演。

●一方、政府が拉致被害者として認定していないが拉致の疑いが濃いとされる特定失踪者の藤田進さん（失踪時19歳）の弟で特定失踪者等の拉致認定を求める会代表の藤田隆司氏は、拉致された可能性が排除できない捜査、調査している失踪者は、全国で868人おり、署名運動も近く1000万人署名を達成して、国民の10パーセントの意志を書面に現し、すべての拉致被害者の帰国を目指して、北朝鮮に向かって、政府が迅速な対応を図るよう国民の協力を得ながら全力で活動を推進することを訴え感動を与えた。

●当日、来場者には、拉致被害者全員の早期帰国の署名に協力を頂き、三枝会長からは拉致被害者家族連絡会の飯塚代表並びに北朝鮮に拉致された日本人を救出する埼玉の会の竹本代表に活動資金として金一封が贈呈された。

DVD　田中作次物語

在庫終了です。

●ポリオ千円寄付で1枚差し上げていました田中作次RI会長記念のDVD。大好評に付き在庫が終了いたしました。

●これは地区大会用に作成したオリジナル映像と、国際大会でのRI会長スピーチ等をまとめたもの。1,500 枚という強気のプレスをしましたが、全国中の地区と、我が地区クラブからの申し込みが殺到し、はやばやと在庫完了です。

●在庫があれば、リスボン国際大会の日本人朝食会でお披露目し、ポリオ寄付を募る予定でしたが、少し残念です。

●ちなみに一番たくさんご発注いただいた地区は、京都・奈良・滋賀・福島の2,650 地区の170 枚。
他地区のクラブでは山形県の南陽東RCの60 枚でした。

●映像は 6 分半で、作次さんの誕生からRI会長になるまでを描いた力作。お持ちの方は、このDVDを例会時に放映して、まだ見ていない方にもご覧いただいてください。

今年度の震災復興事業「鎮魂と希望のコンサート」開催！

4月7日リリアメインホールにて「東日本大震災復興支援コンサート」が開催されました。（指揮・浮ヶ谷孝夫氏、ピアノ・及川浩治氏、東京フィルハーモニー交響楽団）当日は岩手の第2520地区・小野寺ガバナーもお見えになり、入場料収入の1割が岩手の2520地区と福島の2530地区に届けられました。来場者の半分はロータリアン、もう半分は市民の皆さまに集まっていただき、内に、外にと、このチャリティ事業は大きな共感を呼びました。

わざわざコンサートにおいでいただいた小野寺ガバナーと固い握手を。

左から田中次年度地域社会奉仕委員長・清水地域社会委員長・指揮者の浮ヶ谷孝夫氏・田中ガバナー・寺門社会奉仕部門委員長

2570地区の地区大会開催！

●お隣の2570地区（埼玉北西）の地区大会に、ガバナーやパストガバナーはじめ、沢山の皆さまが出席しました。かつて埼玉県は257地区1つだけで、ここから2570と我々の2770に分かれた特別に関係の深い地区です。今年度は新聞全面広告・打ち水大作戦・ブライダル委員会（結婚斡旋事業）も合同でやりました。

●もう一つ特筆したいのは、今年度の地区大会の予定が同じ日に組まれてしまい2570が移動してくださった恩義があります。一週間ずらしたくても直近の会場はだいたい一杯ですから、2570は5月も近いこの日の開催になりました。2570の鈴木ガバナーありがとうございます。

●地区内でも、IM、周年事業、オープン例会など開催日が重なるということはよくあることです。日程調整は、必ず地区事務所を通してやり、決まったらいち早くホームページにあげることが大切なポイントですネ。

RI会長代理歓迎晩餐会開かれる

これは20日のRI会長代理歓迎晩餐会で。大塚パストが見える。

文庫通信【307号】

最近の「ロータリー情報」より（2）

◎「奉仕の理想と」つの標語」
安孫子貞夫
2013　2頁
（D2800　月信）

◎「Awarenessは対内が基本」
大久木精一
2013　1頁
（D2710　月信）

◎「RIの戦略計画は何処までクラブを活性化できるか」
坂本俊雄・服部芳樹・井上暎夫
2013　7頁
（D2720　月信）

◎「ロータリーの奉仕と平和」
朴柱寅　2012　9頁
（D2790　地区大会記念誌）

◎「Eクラブの設立・現状と課題」
杉田　博　2012　10頁
（D2710　地区大会特集号）

◎「ロータリーを実践し
みんなに豊かな人生を」
ロンD.バートン　2013　4頁
（2013年国際協議会講演集）

◎「新世代」
田中作次　2013　3頁
（2013年国際協議会講演集）

◎「ロータリーソング誕生秘話」
岡村　健　2012　6頁
（福岡南RC月報）

［右記申込先：ロータリー文庫］
TEL（03）3433・6456
FAX（03）3459・7506

栄誉の受章

超我の奉仕賞　田中徹夫 PG（岩槻東RC）

RI超我の奉仕賞は、ロータリーの標語『超我の奉仕』を実現するRI運動に貢献したロータリアンに贈られるロータリアン最高の栄誉です。毎年世界中で150名までに送られます。

■ロータリー歴
1980年8月　岩槻東RC創立会員
1987～88　地区青少年交換委員
1988～90　地区青少年交換委員
1989～90　岩槻東RC会長
1990～92　地区青少年交換委員長
1993～94　地区 GSE委員長
1998～99　地区国際奉仕部門委員長
2000～01　地区ガバナー

財団特別功労賞　関口博正 PG（杉戸RC）

「ロータリー財団特別功労賞」は、「財団功労表彰状」を既に受賞した人で、財団への卓越した奉仕を長期にわたって実践している個人に贈られます。

■ロータリー歴
1971年　杉戸RC創立会員
1982～83　杉戸RC会長
1988～89　地区米山増進委員長
1992～93　地区分区代理
1997～98　地区増強拡大委委員長
1998～99　ロータリーの友委員
1999～00　クラブ奉仕部門委員長
2002～03　地区ガバナー

財団功労賞　大塚信郎 PG（上尾RC）

「ロータリー財団功労表彰状」は、財団プログラムを推進し、財団の目標に近づくために、ロータリアンが行った意義ある献身的な奉仕を表彰するものです。

■ロータリー歴
1981年10月　上尾RC入会
1996～99　上尾RC会長
2000～01　地区新世代委員
2003～04　地区ローターアクト委員
2004～05　第5グループガバナー補佐
2005～07　地区健康保持・増進委員
2007～08　地区管理運営部門委員長
2008～09　地区奉仕プロジェクト部門委員長
2009～10　地区ガバナー

インドから視察チーム　川口
「技術者の経験生きている」

12頁で紹介したインドからのVTT、ガバナーの会社訪問が4月4日の埼玉新聞に載りました。

新聞社は、情報を伝えればけっこう取り上げてくれます。
これもロータリーのブランド戦略です。

このＰＲの頁は、広告料をいただくことで『月信の公共性のバランス』を取りながら、個人にスポットをあてています。
記事はすべて編集部が書く第三者から見た視点です。（日本人は謙譲の美学があり、自分じゃ自慢ができませんからネ）。

私達の金婚式

無料招待で祝う。お祝いの気持ちは寄付金へ！

川口南RC　竹ノ谷光美さん
川口RC　竹ノ谷裕子さん

シャンペンタワーを前に、幸せそうなお二人です。

国際大会へは２人で10回以上も！　これは2004年大阪大会で千玄室さんと

9～10年のアンニーナと、10～11年のシャノン。カエルと遊ぶ写真。何で２年分の留学生が一緒にいるのかって？大震災でアンニーナを途中帰国させたので、夏休みに川口クラブが呼んであげたのです。最高のプレゼント☆

●竹ノ谷ご夫妻は、ご主人は川口南RC、奥様は川口RCというおしどりロータリアンです。そのお二人が無料招待の金婚式感謝のパーティを開催。無料だと来づらいでしょうからと、『お気持ちはスペシャルオリンピックスの寄付へ！（知的障害者の国際的競技会）』という催しにしたという噂を聞き、「この記事の掲載をどうです？」と飛んで行きました。

●この記事枠、みなさん奥ゆかしくて自分からの申し込みが少ないのが現状です。「何だか、偉いだろうって自慢するみたいで、ちょっと…」と、奥様の裕子さんは言っていましたが、「こういうロータリアンがいると伝えることが大事…」と、承諾を頂きました。

●時は3月17日、所は川口南のメンバー国武さんの【ショックオン】（2月号で有料記事紹介）と、同じく川口南のメンバー斉木さんの【グレースパブ英】の両店。隣接する2店の秘密の扉を初めて開けて大きな会場をこしらえたのです。やはり持つべきはロータリーの友人です。

●ここに「来るワ来るワ」で古くからの友人を含めて130人が集まり、「寄付をするワするワ」で110万円集まったというのです。さすがロータリー精神を持つ友人たち。かなり好い話です。こんな素敵なロータリアンの金婚式の迎え方もあるんですね。「ロータリーにいなければこういう企画も思いつかなかった」と竹ノ谷さん。

●ここでちょっとお二人を紹介します。

ご主人の光美さんは、99年に川口南RC会長。03年田村年度の新世代部門委員長。05年北年度のガバナー補佐。06年飯野年度ではクラブ奉仕部門委員長という略歴。

奥様の裕子さんは、07年川口RC入会ですが、入る前から国際大会に10年続けて参加という大型ベテラン新人でした。

●交換留学生のホームステイを7人も預かりました。GSE（世界中の青年の職業研修制度）も4カ国預かりました。なるほど聞けば聞くほど輝かしい実績。（自慢になるから掲載は嫌という気持ち、よぉく分かります）。

こうしてお二人は、仲良く奉仕の人生を歩まれているのです。

●ロータリーに生き、奉仕を実践するとはこういうことなんですね。（辞めようかと思っている新人の皆さま、こうやって『ロータリーで素晴らしい出会いを』見つけてください☆）

●今、竹ノ谷さんは、風評被害に苦しむ福島の農家のために、お米の直接販売に取り組んでいます。11Gだけで行いましたが、この奉仕の輪を広げたいと思います。

詳細は竹ノ谷さん迄。

☎090・3502・7350

……

2月号の「ショックオン」の記事広告で電話番号記載モレがあったのでココに掲載します。

☎048・259・5776

限られた月信の紙面の中では、特定個人を大きく紹介出来ませんので、この有料記事枠と、その内容が好評です。
「ロータリアンは、個人でもロータリー的に生きているんだね。知らなかった。毎号楽しみ☆」という声を頂いています。

広告ですからぜひ大いにＰＲをしてください。１頁３万円、半頁１万５千円の広告料分の価値があるのかどうか。
掲載したご本人にその価値や効果を納得していただけるのか。これを念頭に考えながらお誘いをしております。

私の地域社会奉仕

フルバンドジャズオーケストラの生演奏承ります。

国際交流委員長 大東悦巳さん（春日部西RC）

●国際交流委員長の大東さん、じつは17人編成の本格的ジャズオーケストラのサックス奏者です。昨年度の地区大会の晩餐会で演奏もしましたので記憶にある方もいるかと思います。

●名前は「ドリーム・スイング・キングダム」。母校、日本工業大学のジャズーケストラのOBを中心に結成。年3回開催される「ジャズデイかすかべ」には毎回出演。他にも「新都心ジャズデイ」「さいたまBIGBAND連盟コンサート」「越谷0296LIVE」、そして老人ホーム慰問演奏等を行っています。やはりロータリアン、地域社会奉仕系のバンドです。

●ジャズ活動の奉仕のテーマは「ジャズデイかすかべ」と言い、ジャズで街中に賑わいをつくろうと、春日部市中心市街地活性化を音楽で応援しています。公園や商店街での演奏で、春日部に活気と潤いをつくり「劇場都市かすかべ」をめざしているのです。

●ジャズというと、バーボンをラッパ呑みしながらスイングするような不良系の色艶をイメージしますが、大東さんはどこまでも健全です。

●本業は設計家で、平成16年に大東設計を設立し木造構造設計が専門。会社もまた17人を率います。今、耐震偽装事件の影響で構造技術者が不足し、かなり忙しいとか。ロータリーも会社も多忙の中、ジャズをやる時間がよくあると感心です。しかし会社は緻密な頭脳労働。ロータリーはアウトドアの国際奉仕系。ジャズは精神を解き放つ発散系。調和が取れているのかもしれません。

●「プロ級の腕前とは絶対書くな」と釘をさされましたが、腕前はかなりのもの。今45歳。サックス歴は16歳からで30年のベテランです。機会があればぜひ呼びたいバンドと、頼まれもしないのにこうしてスポットをあてさせて頂きました。

●略歴を紹介すると、郷里は三重県志摩市。リアス式海岸の国立公園です。小学校時代は野球少年。そして風光明媚な海で水泳三昧。中学校では卓球部。今でも温泉卓球では誰にも負けない自信があるとか。その後、高校はサッカー部志望でしたが、強烈な勧誘に人の良さから抜け出せずブラスバンド部へ。ここでサックスと出会いました。そして日本工業大学に進学するため宮代町に来て、大学3年の時にバイト先の「デニーズ」で今の奥様と恋に落ちて2児のパパです。

設計士が16人と、行政担当一人。設計事務所ではかなり大きい。

伊勢志摩国立公園の美しい景色が大東さんを育んだ。

●大東さんは、「故郷を遠く離れるとその良さが分かります。疲れた時、気分が落ち込んだ時、伊勢志摩の写真をみると癒されます。子供たちにとっては春日部が故郷です。自然は少ないですが、美しい町並みと美しい心、笑い声のある街であって欲しい。そのためにロータリーで自分を磨き、ジャズで春日部の街のお手伝いをしていきたい」と話してくれました。

☎090・9643・8400

掲載された方から、「自己紹介する時や、取材を受けた時に、これが自分を紹介する簡単なツールになって、
とても助かっている。人が自分をまとめてくれる機会って、なかなかないからネ」とう感謝の言葉もいただきました。

一つ欠点を言えば、記事掲載者が『南高北低』。11グループや川口クラブに多いことです。ガバナースタッフが編集をしている都合上、どうしても見渡せる近隣の方になり、全クラブ横断的なメディアにまで育っていないのです。

私の国際奉仕

ロータリアンは、「天に貯金をしているんですね」

桶川イブニング次年度会長　**堀口勝男さん**

男の顔は年輪。53歳の今と18歳の時。親子のようです。

●桶川に住む83歳の女性から、ロータリアンの皆さまに伝えて欲しいとお願いされたメッセージが、「ロータリアンの皆様は天に貯金をしているんですね。人生の中で必ず良い事がありますよ」の言葉。これを伝えるために出てくれた堀口さん。この言葉が心に深く刻まれ、ロータリアンとして誇りが持て、陰日向なく、上向きに前向きに生きたい。人生を変えた言葉になったと言います。

●この堀口さんのロータリー歴、人とちょっと違います。入会前よりフィリピンの子供たちに食べ物や衣類を提供するボランティアを続けていました。ある日、ロータリアンと知り合い、自分のことを語ったら、「もっと大きくてもっと素晴らしい奉仕ができるところがある」と言われ4年半前に入会。翌年には地区の国際奉仕委員長に誘われ、それからずっと国際奉仕委員会です。

フィリピンの子供たちに教材をプレゼントする堀口さん。

●いちばん不安だった事は、ロータリーと価値観の違いはないかということ。しかし『案ずるより産むが易し』。皆さん苦労や経験を重ねた素晴らしい方々で、すぐ溶け込む事ができたと言います。

●次年度は会長です。「早くに地区に出向させて頂いた事でスキルも上がり、多くの事を学ばせていただきました。この経験をクラブ運営のために尽力する所存ですし、とても感謝してます」と堀口さん。

●国際奉仕ではフィリピンに行く事が多く、貧困層を見て涙をした事もしばしば。「同じ時代に生まれ、何不自由なく生きてきた私にとって、衝撃的でした。食べ物がない。住む所がない。えっ!?身体は痩せ、本当にちっちゃい子供たちが路上に一杯いて、どうして?どうして?といつも自問自答の繰り返し。そんな所までロータリーは出向き、愛ある奉仕活動を行っている様子は、自分の目で直接見た方しか理解できない」と、堀口さん。

2011年3月、国際奉仕委員としてフィリピン訪問。

「命の重み・命の大切さを理解するためにも国際奉仕を体験して下さい。きっと人生の糧になります。一人でも多くの方が参加し、少しでも救われる命があればと思っています」と、堀口さんは真剣でいつも輝いています。

83歳の女性から「あなたは天に貯金をしているんですね」の言葉、その通りです。

●堀口さんにはこんなこともありました。入会後、父親が末期の癌と判明。自宅で看取る事を決心し、日々精進の毎日だったそうです。そんな時「心の休憩所」は例会。いつもなごやかで楽しく、心が折れそうな時も助けてもらえたそうです。

「愚痴をいわず過ごせたのもロータリーのお陰。そんなこんなで1年3ヶ月の短い介護も終了。笑顔で看取る事ができました」と話します。人生は試練の連続です。逃げずに前向きに、父親の介護も、会社経営も、家庭も、国際奉仕もこなす4輪駆動の堀口さん。『もっとも奉仕する者、もっとも報われる』でしたよね。

趣味は釣り、大物を釣ってご満悦。

●仕事は北本駅そばで不動産業を経営。堀口さんなら信頼性の高い物件を捜してくれると思います。

(株)ケイエイホーム
☎048・592・1230

私のライフワーク

「人生で、今日がいちばん若いんだから」の気持ちで――。

会員増強維持委員　**本庄久子さん**（川口RC）

2009年の古稀リサイタル（リリアにて）

●本庄さんは稀に見る快挙を成し遂げた方です。何かと言えば、53歳で桐朋学園大学短期大学芸術科音楽専攻に入学し、卒業をしています。遅咲きの声楽家と言えば、「ベルサイユのバラ」の漫画家・池田理代子氏が45歳で東京音楽大学声楽科に入った例がありますが、本庄さんはそれより8年も年上です。

●「大学の聴講生になり、その後も趣味として専門分野を学んでいる」という話はよく聞きますが、本庄さんは大学受験をし、18歳の学生に混じって体育の授業もドイツ語もやり、全ての単位を取って卒業。その後は、ベルギーやスイスの音楽祭にも出演し、CDも発表。リサイタルは9回を数えるという本格派なのです。

「やりたい!」と思った時が青春。いつも「人生で、今日がいちばん若いんだから」の気持ちで取り組むその姿勢、男どもも見習いたいものです。

●彼女の半生を手短かに紹介しますと、結婚は早く19歳の時。27歳だったご主人と恋愛で結ばれました。2人は高度成長期の日本で貿易商社を立ち上げ、ラジオやスピーカーなどの輸出を手広く拡げて行きました。しかし一転、ドルショックで会社は岐路に立ちますが、今度は輸入に活路を見出し、Tシャツ・トレーナー・シューズ等、流行の先駆けを手掛けます。原宿に事務所を構え、ヘインズの日本総代理店にもなりました。

若者がアメリカの文化を吸収し、雑誌・ポパイやブルータスで紹介された時代、会社は大きく成長します。会社では専務。家では二男二女の母親。無我夢中で過ごした日々でした。

●そして50歳を迎え、人生に余裕が生まれた時、「音大で声楽を学びたい☆」と、なれない受験勉強をし、声楽家・本庄久子が誕生したのでした。

●そういう母の背中を見て育ったお嬢さんの康代さん。彼女もまた母のように、奔放に羽ばたきます。康代さんは舞台衣装家で振付師。さらにはイベント企画家でさまざまなオリジナルブランドを持つデザイナーです。まだあります。

康代さんは和楽器と語りと墨彩画のライブユニット「ジャパトラ Japan traditional/arts/academy」で語り手として活躍。

ジャパトラのメンバー、左から2人目がお嬢さんの康代さん。舞台衣装も手作り、ライブで語りを。

母は洋楽。娘は邦楽。共に定期的活動を行うアーティストなのです。

●じつはご家族の挑戦にはまだ続きがあります。ご主人は、会社を70歳でご子息に渡した後、墨絵を初め、個展もしています。たった1頁では紹介しきれないのが本庄ファミリーなのです。

本庄さんは60歳半ばでロータリーに入会。まだまだ新しい出会いを楽しんでいます。「今がいちばん若い。だから今からでも遅くない」。この素晴らしき人生を、ご紹介させて頂きました。

●次のコンサート、お嬢さんの康代さんは10回目が9月7日、日本橋公会堂です。本庄さんは10回目が来年の1月22日川口リリア音楽ホールです。（これはご主人の墨絵展も一緒の企画）。パワーをもらいに出かけませんか!

◎お問合せ
☎048・251・1620

もう一つ欠点を言えば「出したいけれど諸先輩を差し置いて…」という謙譲心が若い方を躊躇させるようです。
自分の会社の広告は『職業奉仕』です。自分の社会活動は『社会奉仕』です。遠慮せずにお伝えしましょう。

他薦もお待ちしています。「あの人のあの活動を伝えたら…」「あの人の仕事なら広告を打ったらいいんじゃないの」。
なんでも結構です。押し売りにならず、喜ばれながら、広告主を捜したい。編集部が好い記事をお書きします。

紙面が
余ったので
コラム

ブスの25カ条
チェックリスト

1 □ 笑顔がない。
2 □ お礼を言わない。
3 □ おいしいと言わない。
4 □ 目が輝いていない。
5 □ 精気がない。
6 □ いつも口がへの字の形をしている。
7 □ 自信がない。
8 □ 希望や信念がない。
9 □ 自分がブスであることを知らない。
10 □ 声が小さくイジケている。
11 □ 自分が最も正しいと信じ込んでいる。
12 □ グチをこぼす。
13 □ 他人をうらむ。
14 □ 責任転嫁がうまい。
15 □ いつも周囲が悪いと思っている。
16 □ 他人にシットする。
17 □ 他人につくさない。
18 □ 他人を信じない。
19 □ 謙虚さがなくゴウマンである。
20 □ 人にアドバイスや忠告を受け入れない。
21 □ 何でもないことにキズつく。
22 □ 悲観的に物事を考える。
23 □ 問題意識を持っていない。
24 □ 存在自体が周囲を暗くする。
25 □ 人生においても仕事においても意欲がない。

●これは宝塚音楽学校の掲示板にある日突然貼られていた言葉です。規律の正しい男社会のような女性の園で、衝撃的に広がり、その後全国中に飛び火した名言です。過激な相応しくない表現もありますが、原文のまま転載します。
●解説には、「コピーして手帳などに貼って持ち歩き、気がついた時はチェックしましょう」とあります。ロータリーには余りいないタイプですが、会社の朝礼等で参考になると思います。25あるので各4点で百点。テストもできます。

高橋　清斗
浦和東
平成25年4月11日
(有)レーベン　しんやネスイミングクラブ
スイミングスクール

丸山　裕司
越谷南
平成25年3月28日
丸山仮設
仮設工事

訃報

金子　幸重
岩槻東
平成25年3月4日
享年　87歳

羽田　繁
大宮北
平成25年3月18日
享年　72歳

鈴木　宏之
鳩ヶ谷
平成25年4月4日
享年　61歳

ご冥福をお祈り申し上げます

平田　正博
浦和南
平成25年4月1日
(有)エムザ
物流業

清宮　喜三郎
浦和南
平成25年4月1日
(有)豊曜商事
不動産賃貸

飯窪　克己
大宮シティ
平成25年4月3日
イイクボ運送
運送業

中村　隆雄
越谷中
平成25年4月9日
(株)中村工務店
建設業

栗岡　宏治
大宮
平成25年4月10日
セキグチシステム販売(株)
事務機器販売

染谷　義一
大宮西
平成25年3月23日
東相住宅(株)
不動産取引業

大山　佳伸
八潮
平成25年3月5日
大山商会
液化圧縮ガス

山崎　一祥
大宮西
平成25年3月23日
サイホン(株)
不動産賃貸管理業

那須野　智子
八潮イブニング
平成25年3月6日
トキワ(株)
流通加工

吉澤　隆
大宮西
平成25年3月23日
(株)吉澤企画
葬祭業

川田　淳也
上尾西
平成25年3月13日
(有)モスグリーンナチュラル
外装

長谷川　英智
八潮
平成25年3月26日
八條葬祭八條会館(株)
葬祭業

縣　俊明
浦和
平成25年3月22日
戸田建設(株)関東支店
総合建設

山瀬　元気
大宮シティ
平成25年3月27日
(株)サンライフーズ
食品製造・加工

小林　政良
大宮西
平成25年3月23日
(株)セイル電設
電気工事業

降田　富男
越谷北
平成25年1月16日
(株)マックス・コーポレーション
飲食業

神山　利修
三郷ウェンズデー
平成25年3月27日
(株)ケーテーテック
精密機器部品製造

松本　健一
大宮西
平成25年3月23日
(有)ペイントサインマツモト
総合看板・塗装販売業

和泉　龍一
草加中央
平成25年3月1日
(株)アクシス
卸・小売業　機械製品

新会員 21人

準米山功労法人

㈱クワバラ・パンぷキン
さいたま中央
平成25年4月11日

P・H・F

橋口　康道
桶川イブニング
平成25年1月30日

M・P・H (2)

島村　廣幸
春日部イブニング
平成25年2月27日

ロータリー財団

創立50周年記念
特別寄付

上尾ロータリークラブ
平成25年3月16日

創立50周年記念
年次寄付/ポリオ・プラス

上尾ロータリークラブ
平成25年3月16日

M・P・H (2)

中村　泰司
蕨
平成25年3月5日

M・P・H (4)

遊馬　幸義
蕨
平成25年3月5日

米山奨学会

M・P・H (2)

高松　良典
蕨
平成25年3月5日

M・P・H (4)

小田嶋　弘
蕨
平成25年3月5日

米山功労者メジャードナー (33)

吉田　肇
川口西
平成25年2月19日

M・P・H (1)

野口　正人
蕨
平成25年3月5日

M・P・H (4)

高石　正
蕨
平成25年3月5日

米山功労者メジャードナー (18)

田村　亮夫
川口モーニング
平成25年4月1日

M・P・H (1)

上田　治男
蕨
平成25年3月5日

M・P・H (4)

桑原　次男
さいたま中央
平成25年4月11日

米山功労者メジャードナー (13)

古野　忠行
春日部西
平成25年3月11日

P・H・F

玉木　和夫
幸手
平成25年2月28日

M・P・H (3)

根本　武雄
春日部イブニング
平成25年2月27日

米山功労者マルチプル (2)

川上　雅己
春日部イブニング
平成25年2月27日

P・H・F

瀬川　裕史
幸手中央
平成25年3月26日

M・P・H (3)

小田　ハツヱ
蕨
平成25年3月5日

※これらは、編集締切日時点で分かった方の情報です。来月に載る方もいらっしゃいますので、予めご了承ください。